



近現代日本文学作品の 言語学的分析アプローチ

日時 2024年9月22日 **日** 9:00 ▶ 16:30

会場 京都大学吉田キャンパス 文学部校舎3階 情報端末室 (L312)
※ ノートパソコンをご持参ください

または **Zoomによるオンライン聴講**

参加無料 (事前申し込み必要)

プログラム

第1部 トランスフォーマーを用いた言語処理の基礎

9:00~12:00

黄 晨雯 (大阪大学大学院人文学研究科 助教)

- Transformerの紹介と基本的な使い方
- オンライン日本語小説のメタデータによるモデル調整とテキスト分類

第2部 多変量文体分析モデルによる近代日本文学の遠読

13:30~16:30

田畑 智司 (大阪大学大学院人文学研究科 教授)

近代日本文学作品64点からなるコーパスをもとに多変量文体分析モデルやLDAトピックモデリングを実行し、近代日本文学を彩った作家、作品間に見られるタイポロジーや系譜を俯瞰的に捉える遠読 (distant reading) を行います。

こんな方におすすめ

- 文体分析を始めたい
- 文学作品の遠読を行いたい
- テキストの情報を可視化したい

お申し込み方法



QRコードからお申込みください
折返しご連絡します

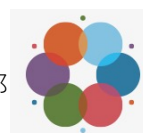
締切: 2024年9月20日24時まで

<https://forms.gle/MkS8B5bSYUk1A5268>

お問合せ

京都大学大学院文学研究科・文学部
人文知連携拠点

E-mail: office@ceschi.bun.kyoto-u.ac.jp



人文知連携拠点

新しい人文知の創造、知の世界の散策。